

評価委員会総合評価

研究課題名：緊急地震速報の予測手法の高度化に関する研究

評価委員

委員長：古川信雄

委員：小泉尚嗣、田中正之、渡辺秀文、泊 次郎

評価年月日：平成 25 年 9 月 25 日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

緊急地震速報の高度化は国民の期待も高く、近未来の南海トラフ地震災害が想定される中、社会的にも重要なテーマである。

本研究は、東日本大震災で明らかになった課題を探求しつつ、前計画で開発されたデータ同化手法の発展と近年整備されてきた多点観測点のリアルタイムデータを最大限に活用した新手法の開発と、これまでの知見や新たに取得可能なデータの有効活用を目指すものである。

また、観測された地震波形から将来の地震動を波形レベルで予測し、実測震度と予測震度間の震度差を1以内に抑え、かつ長周期地震動の予測も可能とするという、震度予測の更なる高精度化と長周期地震動の予測を目指しており、世界に先駆ける大変意欲的な内容である。さらに、計画自体も、既に発表されている研究成果に基づいたものとなっており、研究の進め方や達成目標に至るまでのロードマップも明瞭で成果の獲得が大いに期待できる。

本研究により、地震防災を推進する上で画期的な成果が期待されるほか、緊急地震速報に関する実用的な手法が開発される可能性があることから、研究成果の速やかな業務化を図り、信頼性の高い情報への貢献を期待する。